



2020年4月1日

各位

会社名 児玉化学工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 齋木 均  
(コード：4222、東証第2部)  
問合せ先 経理財務部長 大洞 豪将  
(TEL. 050-3645-0121)

### 当社株式の時価総額に関するお知らせ

当社は、2020年3月における月末時価総額が10億円未満となりましたので、今後の見通し等につきまして下記のとおりお知らせいたします。

#### 1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、2020年3月の月末時価総額が10億円未満となりました。東京証券取引所有価証券上場規程第601条第1項第4号a本文では、9ヶ月（事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を3ヶ月以内に東京証券取引所に提出しない場合にあつては3ヶ月）以内に、毎月の月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上とならないときは、上場廃止になる旨規定されております。

(ご参考)

- ① 2020年3月の月間平均時価総額 1,127,717,596円
- ② 2020年3月31日現在の時価総額 972,423,486円  
(2020年3月31日終値246円×2020年3月31日上場株式数3,952,941株)

#### 2. 今後の見通しについて

当社グループの2020年3月期通期の損益につきましては、中期経営計画に基づき、各種施策の実行を含む業績改善に取り組み改善の効果が見られ、売上高は17,400百万円(前年度比7.4%減)、営業利益は170百万円(前年度は営業損失352百万円)、経常利益は10百万円(前年度は経常損失552百万円)と改善されましたが、構造改革費用等の特別損失を計上することにより親会社株

主に帰属する当期純損失は 430 百万円（前年度は親会社株主に帰属する当期純損失 694 百万円）を予想しております。

こうした状況を踏まえ、当社は、今後の再成長に向けた強固な収益体質の確立と財務体質の抜本的な改善及びスポンサー契約による増資等、企業価値の向上を図るとともに、東京証券取引所での上場を維持するべく努めてまいります。

また、今後 3 ヶ月以内に「事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面」を提出する予定でございます。

株主、投資家の皆様をはじめ関係者の皆様には大変ご心配をお掛けしておりますが、何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上